

国道1号富士川周辺における休憩・防災機能強化 に向けた検討会(結果概要)

令和3年3月25日

国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所、静岡県、静岡市及び富士市の4者は、今回の検討会において、以下を確認した。

■国道1号富士川周辺における休憩・防災機能の強化方策について

○富士川左岸の現状と課題

- ・道の駅「富士」は駐車容量が不足しているが、上下線で駐車マスを共有できない構造となっていること
- ・道の駅「富士」はこれまで防災拠点として想定されておらず、国道1号由比興津地区の通行止め時、下り線駐車場が閉鎖され、待避場所を確保できない車両による旧道への迷い込み等を引き起こしていること

○富士川右岸の現状と課題

- ・国道1号由比興津地区の通行止め時、新東名への迂回による清水連絡路等の渋滞が発生していること
- ・富士川右岸の静岡市清水区蒲原地区において地方創生に取り組む新たな拠点整備が検討されていること

○具体の取り組み

- ・富士川左岸においては、道の駅「富士」の休憩機能強化、および富士市地域防災計画の道路利用者等の一時滞在施設としての防災機能強化に向け、駐車容量の拡大、所要の防災施設の整備を図るとともに、「道の駅」運営者と連携したBCP策定、防災訓練を実施すること
- ・国道1号に緊急時に転回可能な中央分離帯を導入すること
- ・富士川右岸においては、蒲原地区の拠点整備の検討と連携しつつ、災害時の情報発信や広域迂回の改善等の検討を進めること

- 富士川両岸の状況に差違がある一方で、着手可能な休憩・防災機能の強化方策は遅滞なく実施する必要があることから、中間とりまとめを行うこと

以上